

## 1 学校・家庭・地域との連携・協力の必要性(意義)

キャリア教育は個々人の生き方にかかわる教育であり、キャリアの形成には、一人一人の成長・発達  
の過程における様々な経験や人とのふれあいなどが総合的にかかわってくる。そのため、キャリア教育を  
推進するに当たっては、学校が児童生徒の生活時間の多くを占める家庭と積極的にかかわりを持ち、と  
もに連携・協力をして進めることが重要である。

また、産業構造の変化等について、事業所の担当者等から学んだり、情報交換したりするなど、地域  
や関係諸機関との連携・協力も必要となってくる。そして、それぞれの役割を認識しながらキャリア教育  
を推進することが重要である。

## 2 家庭・地域の役割

家庭は、子どもたちの成長・発達を支える重要な場であり、様々な職業生活の実際や仕事には困難もあ  
るが大きなやりがいもあることを、有形無形のうちに感じ取らせることが重要である。同時に保護者が  
学校の取組を理解し、学校と一体となって子どもたちの成長・発達を支えていくことが、今後ますます  
強く求められてくる。家庭教育の在り方、働くことに対する保護者の考え方や態度は、子どもたちの人  
格形成や心身の発達に大きな影響を及ぼすものである。また、キャリア教育は、生活基盤である地域や  
周囲の大人、社会や産業等とのかかわり無しには考えることはできない。子どもたちは、家庭や地域で  
の人間関係や生活体験を通して、社会性を身に付け、「生き方」の基礎を培っていくのである。

かつての子どもたちは、保護者の働く姿を否応なしに目にし、そこから多くのことを学んでいた。しか  
し、昨今、社会の変化が目まぐるしく、核家族化や価値観の多様化等で、家庭生活も変わってきている。  
家事の合理化、外部化により、子どもたちが家事などの仕事を果たす経験も少なくなり、親子の会話も  
少なくなっている。ましてや親の働く姿や祖母や祖父から引き継がれた仕事などに接する機会がなくな  
ってきているのが現状である。

一方、地域は、本来、子どもたちが同年齢、異年齢の人たちと、自由に遊び、活動できる場のはずであ  
る。また、子どもたちが地域の中で、多様な人間関係を体験することができる場でもある。「子どもは地  
域の宝」ともいわれ、地域で子どもたちを育てていこうという機運が高まりつつある中で、大人も含  
め、生涯学習の観点からも、地域でキャリア教育を進めていくことが今求められている。

しかしながら、子どもたちにとって地域は、学校と家庭とを結ぶ単なる通学路の役割しか果たしてい  
ないとの指摘もある。今後は、家庭・地域がそれぞれの役割を認識し、子どもたちの家庭での生活、地域  
での活動の在り方を考え、キャリア発達をはぐむ連携システムを構築していく必要がある。

## 3 キャリア教育推進のための家庭・地域等との連携の在り方

キャリア教育を進めるに当たっては、学校と家庭、地域がパートナーシップを発揮して、互いにそれぞ  
れの役割を自覚し、一体となった取組を進めることがますます重要となる。職場体験やインターンシ  
ップ等の体験活動をより円滑に実施し、キャリア教育を十全に展開するためには、家庭との連携のほか、地  
域や関係機関等との連携も必要不可欠である。学校外の教育資源を有効に活用し、子どもたちに望まし  
い勤労観、職業観をはぐくみ、将来に向けての主体的な進路の選択や決定を指導したり、支援したりで  
きるよう共通理解を図ることが大切である。

さらには、産業構造や雇用形態、進路をめぐる環境の変化などについて、また、キャリアを形成してい  
く方法等について専門的な知識や情報をもっている保護者、社会人、職業人など外部講師から直接学  
んだりする機会を持つことが大切である。家庭や地域、特に事業所や関係諸機関等とのかかわり方を  
どのようにしたらよいかを、具体的に次に示す。

### 【家庭・地域が学校と連携して協力できること】

- |                        |                      |            |
|------------------------|----------------------|------------|
| ・しつけ、子どもへの接し           | ・働くことを通じての家族の会話      | ・職業人による講演会 |
| ・職場訪問、職場体験、インターンシップ    | ・家庭における役割分担、家事分担     |            |
| ・社会人講師による体験学習          | ・卒業生や地域の人々の体験談を聞く会   |            |
| ・幼児、高齢者、障害のある人々とのふれあい体 | ・上級学校の教員による模擬授業、出前授業 | など         |

### 【学校が家庭・地域に向けて発信できること】

- |                    |              |            |         |
|--------------------|--------------|------------|---------|
| ・学校だより、進路だより等による啓発 | ・授業公開        | ・行事公開      | ・家庭教育講演 |
| ・進路説明会             | ・学級懇談会、地区懇談会 | ・三者面談、進路相談 | ・保護者会   |
| ・キャリア教育講座、講演会      |              | など         |         |

### 【子どもたちが家庭、地域の中でできること】

- |                     |             |             |
|---------------------|-------------|-------------|
| ・家庭における役割分担、家事分担    | ・街中探検、社会科見学 | ・ボランティア     |
| ・職場見学、職場体験、インターンシップ | ・保育体験、福祉体験  | ・自治会や公民館の活動 |
| ・お祭り等地域行事への参加       |             | など          |

これらの各活動を、それぞれの立場、役割を認識し、連携・協力して実施していくことが大切である。ま  
た、職場体験の発表会を外部にも公開し、地域の方々等も参加することによって、教員、児童生徒、保護  
者、地域の方々と授業や体験活動を共有することも大切である。そうすることで、お互いに意見や考え  
を出し合い、キャリア教育の理解に関して、相乗効果を得ることができる。これらのコーディネーターと  
しての役割を学校、地域が担うこともまた重要である。

#### 4 職場体験・インターンシップの実施

小学校・中学校・高等学校におけるキャリア発達と職場体験等の関連(例)

	小学校	中学校	高等学校
キャリア発達段階	進路の探索・選択にかかる 基盤形成の時期	現実的探索と暫定的選択の時期	現実的探索・試行と社会的 移行準備の時期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己及び他者への積極的関心の形成・発展</li> <li>身のまわりの仕事や環境への関心・意欲の向上</li> <li>夢や希望、憧れるイメージの獲得</li> <li>勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>肯定的自己理解と自己有用感の獲得</li> <li>興味・関心等に基づく勤労観、職業観の形成</li> <li>進路計画の立案と暫定的選択</li> <li>生き方や進路に関する現実的探索</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己理解の深化と自己受容</li> <li>選択基準としての勤労観、職業観の確立</li> <li>将来設計の立案と社会的移行の準備</li> <li>進路の現実吟味と試行的参</li> </ul>
体験的活動(例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の探検</li> <li>家族や身近な人の仕事調べ・見学</li> <li>インタビュー</li> <li>商店街での職場見学</li> <li>中学校の体験入学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族や身近な人の職業聞き取り調査</li> <li>連続した5日間の職場体験</li> <li>子ども参観日(家族や身近な人の職場へ)</li> <li>職場の人と行動を共にするジョブシャドウイング</li> <li>上級学校の体験入学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターンシップ(事業所、大学、行政、研究所等における就業体験)</li> <li>学校での学びと職場実習を組み合わせて行うデュアルシステム</li> <li>上級学校の体験授業</li> <li>企業訪問・見学</li> </ul>
児童生徒の感想から	<ul style="list-style-type: none"> <li>いっぱいおもしろいものを見て楽しかった。</li> <li>いつも私たちをまもってくれてありがとう。</li> <li>大きくなったら、私も看護師さんになりたいな。</li> <li>お店で働いている人は、見ているよりずっとたいへんだな。</li> <li>いろいろな仕事を見て、夢がまた増えた。</li> <li>うちのお父さん、お母さんの仕事もたいへんだなと思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事の厳しさや楽しさを知り、働くことの大切さを感じた。</li> <li>親やまわりの大人たちがとてもがんばって働いていることに感心した。</li> <li>コミュニケーションの大切さを知った。</li> <li>学校での勉強が大事だということがよくわかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来なりたいと思っていた仕事だが、自分に向いていないと実感した。</li> <li>学び続けることの大切さを知り、これからの進路決定に役立った。</li> <li>企業努力の大切さと現実の厳しさを実感した。</li> <li>部下に指示をだす場面をみて、部署の人間関係の大切さを感じた。</li> </ul>